

○信越総合通信局長表彰

「電波の日」 (2個人)

(敬称略)

| 受賞者名 | 事績の概要 |
|--|--|
| 佐藤 久 (さとう ひさし) (新潟県立新発田南高等学校 教諭) | 永年にわたりアマチュア無線のARDF競技大会運営の中心となり尽力されるとともに、競技に係る技術情報を広く提供するなどアマチュア無線を体験する機会を積極的に作る活動により、全国の青少年のワイヤレス人材育成に多大な貢献をされました。 |
| 上原 一郎 (うえはら いちろう) (元 公益財団法人日本無線協会 信越支部 無線従事者国家試験 試験員) | 永年にわたり無線従事者国家試験の試験員として試験の厳正かつ適正な実施に尽力し、我が国の無線従事者の育成及び電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をされました。 |

「情報通信月間」 (1団体、4個人)

(敬称略)

| 受賞者名 | 事績の概要 |
|---|--|
| 糸魚川市 (市長 米田 徹 (よねだ とおる)) | テレワークオフィスの拡充や他の地方公共団体と連携したテレワーカーの育成を推進するとともに、首都圏ICT企業の地方拠点誘致やテレワークオフィスの法人化など、テレワークを活用した地域の就労支援や雇用創出に多大な貢献をされました。 |
| 中野 敬介 (なかの けいすけ) (国立大学法人新潟大学 工学部 教授) | 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会の委員長として長年にわたりICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をされました。 |
| 小池 健一 (こいけ けんいち) (長野県 厚生農業協同組合連合会 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 名誉院長) | 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会委員を長年にわたり務め、ICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をされました。 |
| 酒井 龍市 (さかい りゅういち) (株式会社イトラスト 代表取締役社長) | 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会委員を長年にわたり務め、ICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をされました。 |
| 森本 博行 (もりもと ひろみち) (公立大学法人長野県立大学 名誉教授、 東京都公立大学法人東京都立大学 名誉教授) | 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会委員を長年にわたり務め、ICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をされました。 |

○信越電波協力会長表彰（4団体）

（敬称略）

| 受賞者名 | 事績の概要 |
|--|---|
| 株式会社ドコモCS 新潟支店 （支店長 久保田 敦紀 （くぼた あつのり）） | 令和4年12月からの大雪災害において、積極的に新潟県庁など関係機関と連携を図り、車載型基地局を派遣し、発電機配備による携帯電話基地局の機能回復や、その後の早期復旧を行うなど、災害時の通信確保に多大な貢献をされました。 |
| 株式会社ドコモCS 長野支店 （支店長 佐々木 啓三郎 （ささき けいざぶろう）） | 自治体や山岳関係者からの基地局設置困難な北アルプス縦走ルート of 携帯電話エリア化要望について、マイクロ波伝送による基地局を設置するなど、登山者等の安心安全な通信の確保に多大な貢献をされました。 |
| KDDI株式会社 小山テクニカルセンター （センター長 今本 和志 （いまもと かずし）） | 令和4年12月からの大雪災害において、積極的に新潟県庁など関係機関と連携を図り、いち早く車載型基地局を派遣し、発電機配備による携帯電話基地局の機能回復やその後の早期復旧を行うなど、災害時の通信確保に多大な貢献をされました。 |
| ソフトバンク株式会社 関東技術推進部 （部長 佐藤 昌晶 （さとう まさあき）） | 令和4年12月からの大雪災害において、積極的に新潟県庁など関係機関と連携を図り、発電機配備による携帯電話基地局の機能回復やその後の早期復旧を行うなど、災害時の通信確保に多大な貢献をされました。 |

○信越総合通信局長感謝状（2団体、1個人）

（敬称略）

| 受賞者名 | 事績の概要 |
|---|--|
| 株式会社エス・ティ通信 （代表取締役 鈴木 義和 （すずき よしかず）） | 令和4年12月の新潟県大雪災害において、村上市内のケーブルテレビ施設に障害が発生した際、気象環境が悪い中早期に駆けつけ、地域住民のテレビ受信環境の復旧に協力されました。 |
| 株式会社オリエンス （代表取締役 丸岡 達生 （まるおか たつお）） | 令和4年12月の新潟県大雪災害において、村上市内のケーブルテレビ施設に障害が発生した際、気象環境が悪い中早期に駆けつけ、地域住民のテレビ受信環境の復旧に協力されました。 |
| 落合 博幸（おちあい ひろゆき） （株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン ICT利用環境啓発支援室） | コロナ禍でオンライン実施となった「高校生 ICTカンファレンス in 新潟」の運営に中心的に携わるほか、平成28年から新潟県警察サイバー犯罪対策アドバイザーとしてサイバーセキュリティの向上に寄与するなど、地域の情報通信の安心安全な確保に協力されました。 |

○「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞（1個人）

※信越関係分

（敬称略）

| 受賞者名 | 受賞の概要 |
|--|--|
| 左右手(さゆうて) （学校法人国際総合学園 日本アニメ・マンガ専門学校 呉 力和（ご りくわ）、 中村 拓海（なかむら たくみ） | 男の子と女の子の生活を、新潟の風景に重ね合わせて、普通の何気ない風景の中にも美しさがあることを映像で表現した作品「あの夏」は、地域発の特に素晴らしい作品であり、今後の創作活動が期待されると認められました。 ※ 本作品は「にいがたデジコングランプリ 2022」において信越総合通信局長賞を受賞しています。 |

※「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞

各地の総合通信局及び沖縄総合通信事務所は、クリエイターの育成や作品発表の場の提供、地域からの情報発信等を目的に、デジタルコンテンツに関するコンテストを開催・後援しています。総務省では、その中でも特にすばらしい作品を制作し、今後の創作活動が期待される方々に「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞を授与しています。

○信越総合通信局長賞（1団体）

「情報通信の安心安全な利用のための標語」（学校部門）

（敬称略）

| 受賞者名 | 受賞の概要 |
|---|---|
| 佐久市立切原小学校 （統合後（佐久市立臼田小学校） 校長 井出 誠一 （いで せいいち） | 2023年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされると共に優秀な作品を創作されました。 受賞作品：「大丈夫？ 見えない相手は 要注意」は、今年度1年間の啓発活動に活用されます。 |

※）佐久市立切原小学校は他校と統合し、令和5年4月1日より佐久市立臼田小学校となりました。

<参考>

○信越電波協力会からの情報通信機器の寄贈（1団体）

信越電波協力会では、情報通信の普及発展を図る事業の一環として「電波の日・情報通信月間」を記念して、信越管内の福祉団体に情報通信機器を毎年度、寄贈しています。

（敬称略）

| 受贈団体の名称 | 寄贈機器 |
|---|----------|
| 長野県言語聴覚士会 （会長 寺島 さつき（てらしま さつき） （長野県飯田市） | 情報通信機器一式 |